



劇団120〇EN



劇団@nDANTE



演劇ユニットせのび



三桜OG劇団ブルーマー



演劇集団シアター★6



空間シアターアクセブ

1990年生まれ、山形県出身。福島演劇鑑賞会事務局次長、劇団120〇EN代表。福島大学在学中、演劇サークルの公演本番中に東日本大震災に被災。翌月、劇団120〇EN(げきだんひやくにじゅうえん)を旗揚げ。福島市にまつわる民話・歴史などを題材に、この街だからこそ観ることの出来る演劇を探し活動を続けている。

**清野和也**  
(劇団120〇EN)  
仮タイトル  
『天下婆』



1987年生まれ。山形県出身。新潟大学在学中に劇団@nDANTEを旗揚げ。以降、新潟では劇団@nDANTE主宰として精力的に活動し、山形では市民会館自主事業の演出を担当するなど、両地域の演劇界を牽引する存在となる。

**石川直幸**  
(劇団@nDANTE)  
仮タイトル  
『上からゆっくり踏みしめる』



1994年宮城県生まれ。岩手県盛岡市在住。2016年、自身が主宰する演劇ユニットせのびを旗揚げ。以後、ほとんどの作品の脚本と、すべての作品で演出を行う。昨年コロナ禍に書き上げた、牛井チェーン店を舞台にした一人芝居『@Morioka(僕=村田青葉の場合)』が、かなかわ短編戯曲賞2021にて、グランプリを受賞。

**村田青葉**  
(演劇ユニットせのび)  
仮タイトル  
『to』



1997年生まれ、仙台三桜高校、宮城教育大学出身。三桜OG劇団ブルーマー代表。演出、脚本、役者として参加した第4回とうほく学生演劇祭にて『スペース.オプ.スペース』を上演。大賞・観客賞を受賞し、京都で開催された第3回全国学生演劇祭に出演。

**くまが いみさき**  
(三桜OG劇団ブルーマー)  
仮タイトル  
『上空より愛を込めて』



1993年生まれ、秋田県出身。演劇集団シアター★6代表。俳優、脚本、演出、宣伝美術。劇作において劇団のモットーである『ドキッと、グスッと、グスとするエンターテインメント』をベースに日常×非日常が織成す舞台作品を目指している。

**高瀬奈穂子**  
(演劇集団シアター★6)  
仮タイトル  
『四畳半ネバーランド』



1989年秋田生まれ。青森在住。2008～2014まで弘前劇場、2016年～空間シアターacceptに在籍し、俳優、裏方、脚本演出など担当。地方に生活し、それ故に可能な表現を模索中。3年ほど東京在住の間に「実験千号」を立上げ、公演を行う。2021年帰青。

**藤島和弘**  
(空間シアターアクセブ)  
仮タイトル  
『見えない枝』



8月から3期にわたり上演してきた“東北を読む”リーディング公演。ラストを飾るのは各県を代表する《若手劇作家の競演》東北6県から才能が集結。この10年で生まれた感覚や価値、イメージを持って書き下ろした作品群を仙台で活躍する俳優陣と、全国の第一線で活躍する演出家が読む。それぞれの角度から、私たちはどんな未来を見ているのか。世代も立場も県境も飛び越えてまじわり、磨かれる言葉。語り手の声、聞き手の目に、雪をも溶かす熱が籠るこの日が、新しい東北演劇の第一歩となる。「フェニックス・プロジェクト2021」第3期『10年/東北演劇の今、未来』書き下ろし含む6作品を一挙上演！各上演ごとに劇作家のアフタートーク、さらに東北の演劇を語り合う座談会も。東北演劇のど真ん中・10-BOXで、愛を叫ぶ3日間！